

えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画（素案）に関する パブリック・コメント募集の結果

【概要】

えちぜん鉄道活性化連携協議会では、えちぜん鉄道を幹線交通として、路線バスやコミュニティバス等との連携による地域公共交通のネットワークの強化によって移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指して、「えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画」を策定します。

このたび、計画の素案について、パブリック・コメントを実施したところ、市民の皆様から以下のご意見をいただきましたので、それに対する市としての考えを示し、公表します。

【意見募集結果】

実施時期	令和3年12月27日から令和4年1月11日まで	
意見提出状況	提出者	1人
	意見数	3件
意見提出方法	書面の持参	0人
	郵便	0人
	ファクシミリ	0人
	電子メール	0人
	電子申請	1人

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	<p>主要拠点駅周辺人口が減少する中で、公共交通利用者が増加しているのは流動総人口が増加しているからまたは自家用車など他の移動手段から移行しているかだと思いが、利用者数目標は人数だけではなく、流動人口に占める割合も目標にしたほうが対策の効果が出たかどうか判定しやすいと思います。</p>	<p>公共交通の利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度までは順調に増加していましたが、感染拡大により令和2年度以降は大幅に減少している状況です。</p> <p>そのため、本計画期間において、減少した利用者数を回復させる必要があり、分かりやすい数値目標として、現行計画の数値目標を継続し、「公共交通の利用者数」としました。</p> <p>一方、各種施策の効果を検証するには、流動人口を考慮することも重要であるため、評価・検証を行う際に参考とさせていただきます。</p>

